

質問に明確に答えてくれる松本先生に出会い

自信を持ってお子様のアトピー治療ができたお母様の手記。

「松本医院に辿りつくまでと、

松本先生と出会ってから」

臼井悠人（お母様記述） 2歳

2016年2月10日

松本医院に辿りつくまで

1歳半ごろアトピーを発症した息子は、松本医院に通うようになって、今で9ヶ月……。まだ完治したとは言えませんが、ほとんど良くなりました。先生に手記をお願いされた時、「うちと前にかかった病院の違いを書いて下さいよ。」と言われたので、松本医院を見つけるまでの3ヶ月間、母親の私が大変な思いをしたことから書き始めます。

息子のアトピーははじめ、首と背中にでき始めました。「湿疹？あせもかな？」と思っている間に、すぐ耳や顔まで真っ赤になりました。私は「ステロイドはあかん」という認識だけは持っていたので、ステロイドを処方しない病院を探さなくちゃと思いながら、何軒かあたりましたが、どこもとりあえずステロイドでした。

“子供の皮膚病はおまかせ！”と謳っていた病院では「たぶんアトピーでしょう。子供さんに優しいステロイドの使い方を教えますね。」と長い説明を受けました。「アルメタはマイルドだから大丈夫」との言葉と、酷くなる息子の肌を前に「使うしかないのかな」と思っていた頃、友人の紹介で新大阪にある脱ステロイドで有名な渋谷皮膚科を知りました。やっとステロイドを使わない所を見つけたと一安心しました。そこで、はじめに出されたのは超酸性水だけでした。あとはお風呂にこまめに1日2回、3回と入ることを指導されました。また、日常生活で気をつけることなど、たくさん説明を受けました。先生は症状を見て、「毛穴に沿って赤みが出ていますね。あせもっぽいなー」と言われました。

超酸性水は、はじめは良いような気がしましたが、何度も通ううちに赤みが

腕やお腹に広がり、しかもジクジクになりました。先生もいろんな軟膏を出すようになってきました。その度に「前の薬はどうでしたか？」と聞かれますが、「あんまり」としか答えようがありません。「アトピーですよ」と聞くと、「そうです」とのことでした。最後に出されたモクタール入りの軟膏は「すごくいい薬なので大切に使ってください。もうあまりない薬なので」と言われて使いましたが、特別にいいとは感じませんでした。

そのうち息子は、超酸性水をつけると激しく掻くようになりました。あと、お風呂に入っても酷くなるような気がするのです。私は自宅が浄水場から近いのでカルキが強いのではないかと思い、それも先生に相談しました。「でも掻くのは悪くないですよ。カルキ、あるかもしれませんね」と少し考えこまれ、超酸性水もモクタールもダメ、お風呂もダメで、この子、次はどうしようかなーという感じに見えました。私はせっかく脱ステロイドの病院だけど、この子には合わないのかとも思い始めました。

このあとやっと松本医院に辿り着くのですが、その前に私が病院探し以外で悩まされたことについて書いておきたいと思います。「アトピー＝何かわからないもの」ということで（松本先生の理論では明々白々なものですが）情報がめちゃくちゃ飛び交っているからです。

情報例

- ・3歳までは母子同体、お母さんのストレスがアトピーに影響する。
→アトピーの世話で疲れる上、いっこうに良くならない息子の肌を前に毎日明るく振舞い、頑張ることがさらに私を疲れさせました。
- ・アトピーはデトックス。出しきれば治る。
→免疫寛容を知らなかった私は、この「毒を出しきる」という言葉に振り回されました。結婚するずっと前から食事や経皮毒などに気をつかう方だったので、これ以上に気を付けて生活するのは難しい。出しきるには入ってくるものも止めなければなりません。そもそもこの子には、一体何の物質が毒になっているのか？いやこの子はもはや都会の空気の中で住めないような子なのかもしれない、と引越しまで考え始めました。「子供の病気は親のせい」と公言されている有名な先生もいて、「私は一番側で子供を見ているのに、何がこの子のアトピーを起こしているのかつきとめてあげられない」と自分を責めました。毎日布団にレイコップをかけ、食べ物も着る物も何もかもをますます選ぶようになりました。

人から「〇〇がいいよ」「〇〇が効くよ」と聞けば、試したくなり、良くなったような、悪くなったような。悪くなった時も「これは好転反応で、悪化した後に良くなるかも」と思ったり、これも「アトピーの原因なのかな」と思ったり。一日中、息子の肌とにらめっこしながら「〇〇食べたのがアカンかったの

かな」「〇〇が良かったのかも」と考えていました。今思えば、パニック状態です。それに「虚弱、敏感なのね」と言われることにも傷つきました。

松本先生との出会い

夜な夜なアトピーについてネット検索していた私は、ついに松本医院を見つけました。先生の理論は衝撃でした。「免疫寛容？すごいやん」そして、「これを世界で最初に発見したのは私です」と豪語しておられる。私はすごい先生を見つけた！と小躍りしました。主人に相談し、次の休みにすぐ松本医院を訪ねました。

初めての診察のことは、はっきり覚えています。受付では診察前に「お子様のアトピー性皮膚炎で来院された保護者の方へ」というプリントをもらいました。内容は、「化学物質全てを避けることは現実的でない」と書かれていて、まず心が軽くなりました。（ですよね。そんなの無理ですもん。）しかもその上で根本治療ができると言われている・・・最後に「最もつらいのは子供ではなく親のあなた」と書かれています。そんな心ある言葉をかけてくれる病院があるなんて・・・。

診察室では先生に「治すのはこの子の免疫ですからね、私じゃないよ～」と念を押されました。そして女性の方にお風呂の説明などを受け、黄と赤色の塗り薬については「口に入っても大丈夫だからね」と言われました。子供は薬を塗ってすぐあちこち触り、舐めるので「そうなんです、そんな薬がほしかったんです」と心の中で大きくつぶやきました。早く漢方治療を始めたくてワクワクしながら帰りました。

漢方のお茶を毎日飲ませることは難しかったですが、それでも息子の顔は1週間ほどでキレイになったのです。驚きでした。このペースならひと月も待たずに全身治るのではと主人と話しました。（実際はそんなに甘くはなく、先生の「治すのはこの子の免疫」という言葉を今は思い知っています。）

顔は一気に治ったものの、その他はとんとん拍子に進みませんでした。でも顔は一番目につくところで、周囲の目も急に気にならなくなり、私は大変満足でした。松本医院で治すと心に決めていたので、迷っても他の方の手記を読んで参考にしました。これまで下半身になかったアトピーがお尻、足へと広がったのですが、何人もの方が同じような経過を書かれていたので、大丈夫と自分に言い聞かせました。今になって思うのは、息子の場合もアトピーが広がってから薄まるというような治り方でした。

手記以外に漢方治療のすごさを強く信じたのは、その効き目です。息子と一緒に漢方風呂に入ると、私も主人も肌がツルツルになりました。日焼けのヒリヒリ、シェービング後のかゆみ等々、なんでも一回できれいに治りました。特に私は吹き出物が出やすいのですが、息子と一緒に漢方風呂に入っているだけで全くなくなってしまったのです。お風呂だけでこれだけ効くのですから、毎

日入ってもすぐになくならない息子のアトピーの症状は、体内から外にどんどん出てきているものなんだと、目で見てわかりました。

夏になると、汗が増えて赤みが酷くなりました。私は「アトピーの上にあせもになってしまった」と思い、先生に聞きました。先生は「あせもという言葉がそもそも無いのであって、汗に化学物質が含まれている」というお答えでした。そして「傷は、3種類だけしかない。アトピーの傷、ひっかき傷、ヘルペスが悪さしている傷。この3つしかないんや」とのことでした。そして息子の傷を指して、「これ、このかさぶたがえぐれている傷、これがヘルペスや」と教えてくれました。

それ以来は、自分でも息子の傷を見て、「まだまだ何かの化学物質に反応しているな」とか、「またヘルペスの薬をもらわなきゃ」とか思ったりしました。息子にも、「これがヘルペスや」と言ってみたりしました。「ひっかき傷は大丈夫。すぐ治るから」と痒くて掻いている息子に伝えたりもしました。ひっかき傷は本当にお風呂と塗り薬ですぐにかさぶたになってしまいます。もう以前のように掻きむしっているところを見ても、不安に思うことがなくなりました。

夏の終わりごろには、「ついに完治した！」と思うぐらいにキレイになりました。秋になってまた、脇や肘、膝の関節にぶり返しました。でも痛々しいジュクジュクの肌を見ることはありません。本当にキレイになりました。

「他院との違いは？」と聞かれれば「ステロイドを使わない治療方法を確立されていること」と「わかりやすいこと」です。松本先生は「～だろう」「～かもしれない」「わからない」と言葉を濁すことはありませんでした。常に答えがあり、断言してくれました。HPにある先生の理論に基づいた治療を、そのままシンプルに受けられました。

出口が見えず、オロオロしていた私にとっては、それが頼もしく、心強かったのです。そして息子は実際良くなったのです。息子のアトピーが酷かった時は、「子供は2人」と決めていたものの、この子の世話に追われながら、次の妊娠は無理だと考えました。この子を治す術を知らない上、2人目もアトピーだったら、と思うと気が引けました。

でもそんな私が現在、2人目を妊娠中です。息子はこのまま松本医院にかかっていたらそのうち治るし、2人目もアトピーやったらまた先生に診てもらえばいいです。何の不安もなく、2人目を授かれたのは先生のおかげです。アトピーは免疫異常の難病で未だ治療は確立されていないと思っていた私に、そんなややこしいもんじゃないと教えて下さってありがとうございます。

松本医院に通える息子は幸せ者ですね。他の方の手記にもありましたが、松本先生はノーベル医学賞を受賞すべき人なのですから。私のようにアトピーで悩む人には、まず医院のHPを読まれることをおすすめします。それだけでモヤモヤが晴れると思います。そして先生の治療をぜひ受けて下さい。

最後に、一日も早く先生の理論が一般論となるような世の中になりますようにと祈っています。